

令和6年度 園芸科「農業選択1 野菜」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組
教科書	野菜 (実教出版)	副教材等	実習ノート

1 学習の到達目標

野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付ける。

2 重点目標

- ・温室メロンやトマトの栽培方法について理解する。
- ・促成栽培、抑制栽培による経営の特徴と利点、欠点を理解する。季節と商物の成長の関係を理解する。
- ・播種から定植までの手順を理解し身につけるようにする。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	温室メロンの栽培	第4章 2 温室メロン	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の経過について知る。 ・生育に必要な環境と、生育の特性について知る。 ・メロンの生産動向や季節による需用など、経営の特性について知る。 	行動観察 ワークシート分析 行動観察・結果確認
		1)栽培上の特性 2)経営上の特性		
5		3)作型と品種の 選び方	<ul style="list-style-type: none"> ・作型の種類を知り、良苗の選択を行う。 ・播種の方法と、その後の管理方法を理解する。 ・鉢上げに必要な環境、また徒長や飛び節の原因を知る。 ・定植を行う。 	ワークシート分析 行動観察・結果確認
		4)栽培管理		
中間考査				
6	温室メロンの栽培	5) 商品価値を高める技術	<ul style="list-style-type: none"> ・玉つりの効果を理解し、技術を習得する。 ・病害虫について知り、その防除方法を理解する。 ・安全な農薬の使用方法を理解する。 	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析)
7		6) 栽培の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・日よけ掛けの役割と品質との関係を理解する。 ・消費者が求めるメロンとは何かを知る。 	ワークシート分析 ワークシート分析
			<ul style="list-style-type: none"> ・メロンの収穫をする。 ・出荷時の規格、価格変動について理解する。 ・メロンの玉ふきや仕分け、調整をする。 ・メロンの販売を行う。 	ワークシート分析 行動観察・結果確認 行動観察・結果確認
期末考査				
9	マトの栽培	5 トマト 1) 栽培上の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の経過について知る。 ・生育に必要な環境と、生育の特性について知る。 ・トマトの生産動向や季節による需用など、経営の特性について知る。 	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析
10		2) 経営上の特性		
		3) 作型と品種・ 良苗の選び方	<ul style="list-style-type: none"> ・作型の種類を知り、良苗の選択を行う。 ・播種の方法と、その後の管理方法を理解する。 ・定植を行う。 ・仕立て、誘引の意義と方法について理解する。 ・両性花の性質と受精から果実肥大までの生長過程を観察する。 	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析
4) 栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・玉つりの効果を理解する。 ・ホルモン処理の役割について理解する。 ・トマトの収穫・調整方法を学ぶ。 	行動観察・結果確認 行動観察・結果確認 ワークシート分析		

11	トマトの栽培	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 糖度測定、重量測定等の品質検査を学ぶ。 	ワークシート分析 行動観察・結果確認
12		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 栄養繁殖野菜の特性について理解する。 抽だい・花芽分化のしくみを理解する。 感温性と休眠についてその形態を観察する。 生理障害の原因とその防止について学ぶ。 病害虫の原因とその防除について学ぶ。 	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析 ワークシート分析
1	光環境について	第2章 2 野菜の栽培環境と生育調節 1) 光環境とその調節 5) 地下部の環境とその調節	<ul style="list-style-type: none"> 植物に対する光の働きについて学ぶ。 施設栽培での好適な環境を整える。 土の物理的性質について知り、構造を理解する。 	行動観察・結果確認 ワークシート分析 ワークシート分析
2	土壌について	学年末考査		
3				

4 評価の観点

知識・技術	野菜の生産と経営に関するプロジェクト学習を通して、野菜全体の生理・生態や生育環境などに必要な知識と技術、野菜生産の計画、管理、評価などの農業経営に関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。
思考・判断・表現	野菜の生産や経営に関して、生産技術や生産工程、経費や流通・販売方法などの生産や経営に関する課題を発見し、地域の農業経営の実践事例や農業生産が果たす社会的な意義と役割などを踏まえるとともに、環境への配慮や法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力が養われている。
主体的に学習に取り組む態度	野菜の生産と経営の学習を通して、農業生産が人々の暮らしを豊かにする素材を提供し、生活環境を創造するという社会的な役割を担っていることを理解し、品質と生産性の向上を図るとともに、安全で安心できる野菜の生産と経営を目指し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度が養われている。

5 評価の方法

「知識・技術」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」, の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・出席を常にしてください。
- ・実習を伴う科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・ワークシート、小テスト、定期考査問題等を整理するために、糊、ハサミを各自で用意してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。